



Audi
Team SHOW APEX

2026年7月10日
Audi Team SHOW APEX

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE

第4戦 SUGO スーパー耐久 4Hours Race レースレポート

予選：2026年7月4日（土）Dry→H.Wet

決勝：2026年7月4日（土）Dry

Audi Team SHOW APEXは、ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE (以下:スーパー耐久シリーズ)第4戦 SUGO スーパー耐久4Hours Raceに参戦致しました。



◆予 選

2グループ制で開催された本大会。TCRクラスは土曜日の予選決勝となる1 DAYレースとなる。

Aドライバー西村選手 路温が上がらず我慢の走りでポジションを一つ上げクラス3番手で予選を終えた。

Bドライバー織田選手 ノックアウト方式の予選で織田選手からスタート。トラフィックにかかり4番手で終えた。

Cドライバー宮園選手・Dドライバー酒井選手 決勝ラップを想定した走りで路面コンディションやマシン挙動を確認しながら危なげないタイムで予選を終えた。



◆決 勝

午前の予選では時折霧雨が降る天候。午後には一旦雨も止み曇り空で気温もやや涼しい。総合3番手グリッドからとなりスタートドライバーは織田選手が担当。定刻になりローリングスタート。スタート直後ポジションを上げクラス2番手に浮上したが、タイヤマネジメントに切り替えポジションを戻しクラス3番手を走るがドライバーチェンジを間近に控えたタイミングでタイヤトラブルに見舞われ緊急ピットイン。後輪がパンクしており交換作業をし宮園選手とドライバーチェンジを行った。その後マシンに異常は無く宮園選手は上々のペースで周回をこなす。ジリジリとライバル車両を追い上げる走りを見せていたが、またしても後輪のトラブルに見舞われ残り2時間を前にピットイン。一通りのチェックを行うも後輪のパンクと判断し3番手ドライバー酒井選手と交代しコースに復帰した。酒井選手は想定通りのラップタイムを刻み順調に周回をこなす。クラス3番手を走行していたが総合トップを走るライバル車両がトラブルで戦線離脱しクラス2番手に浮上。最終ドライバーの西村選手は規程走行時間があるため予定より若干早い交代となるが、残り70分強を残したところでドライバーチェンジを行いコースイン。その後はトラブルもなく危なげない走りでも周回をこなしクラス2番手（総合3位）でチェンカー受けた。

レース公式予選リザルト（A,Bドライバーノックアウト方式） ST-TCRクラス4台出走
エヴァRT初号機 モンスターRS3 LMS クラス 3位 Q2A 1'37.911

レース公式決勝リザルト ST-TCR クラス4台出走
エヴァRT初号機 モンスターRS3 LMS（143LAP） 2位 4:01'02.853



チーム代表兼 田ヶ原 章蔵

鈴鹿、富士でトップ争いが出来ていながらトラブル等で、中々結果が出ないなか今回も2回のパンクはありましたが、チーム一丸で粘りの走りで2位表彰台&完走が出来てほっとしております。勿論勝てるレースの可能性が毎レースあるので、悔しさがありますが、次戦オートポリス戦で、果たせたらと思います！
今回も沢山の応援、本当にありがとうございました！

チーム監督 澤田 栄宏

24時間レース後の菅生戦でしたのでしっかりメンテナンスを行い挑みました。TCRクラスは序盤から荒れた展開で我々も2度のパンクとペナルティがあり非常に厳しいレースでしたが、最後まで走り切れたのでシーズン初の表彰台が獲得出来て安堵しております。ドライバー陣のペースが良かったので次戦のオートポリスではクリーンなレースを心掛けクラス優勝目指してして頑張ります。引き続き応援宜しくお願いします。

Aドライバー 西村 元希

今シーズンは、開幕戦から決勝レースでのペースが良く、毎戦トップ争いに絡めているので、今回も自信を持ってレースに挑みました。テスト走行では、レインコンディションでの走行でしたが、セットアップも決まっていたので、予選、決勝レースに不安要素が無く挑めました。予選は、ハーフウェットでしたが、納得出来る走りが出て、B組のトップを獲得出来たことは自信に繋がりました。
決勝レースは、ドライバー全員が、安定したペースで、上位で走る事が出来ていましたが、コース上のデブリの影響で、タイヤがパンクするトラブルが2回も続き、緊急ピットイン、大幅なタイムロスをしてしまい、優勝争いから脱落してしまいました。結果的には、2位で表彰台に上がりましたが、今回のレースでは勝ちたかったので、非常に悔しいですが、気持ちを切り替えて、次戦に繋がりたいと思います。
今回、応援に来て頂いた皆様、スポンサー各社の皆様、いつも本当に有難う御座います！

Bドライバー 織田 祥平

前回の富士ラウンドでは、別の車に乗っていたため今回のSUGOは僕にとっては久しぶりの「エヴァRT初号機Monster RS3 LMS」です。

今回Bドライバーとして予選も担当させていただきました。

予選はタイヤのウォームアップに苦労しました。タイヤのピークのタイミングで何度かアタックしようとしたのですが他クラスの車両に引っかかってしまい、満足のいくアタックが出来ませんでした。

決勝は、スタートドライバーを担当させていただき2周目にシビックを1台抜いて2位に浮上。ですが決勝中は他車も含めて、数々のトラブルが起きました。僕のスティント中にもマシントラブルでコース脇停車、タイヤパンク等ありました。それでも無線の交信からチームの誰1人諦めていないことが分かっていたので、かなり危ない状態でしたが、僕も諦めずにピットまで車を戻すことが出来ました。その後もトラブルはありましたがしっかりチェッカーを受けて2位表彰台を獲得しました！

しかし個人的に反省点もあり、予選ポジション取りに失敗し予選タイムよりも、ガソリンを積んで予選で使ったタイヤで走る決勝の方がタイムが良かったという結果になってしまいました。

「エヴァRT初号機Monster RS3 LMS」は一発のタイムも、もっと高いところにあると思います。

ドライバーとしてもまだまだ成長しないといけないと感じたSUGOラウンドでした。

Cドライバー 宮園 拓真

SUGOは初走行のサーキットでしたが、練習走行から着々と経験を積ませていただきました。レースではデブリ起因と思われるパンクなど途中でタイムロスが生じた中、一定のペースで走行を続けてバトンを繋ぎ、最終的にチームで表彰台を獲得できたことは良かったポイントです。一方で、ロスなく万全の状態であれば優勝争いできたことを考えると悔しい気持ちもかなり大きく、残りの3戦で更に良い結果を残せるよう、何が伸ばせるのか分析し、月末のオートポリスラウンドに臨みます。応援いただいた皆様、ありがとうございました！

Dドライバー 酒井 翔太

今回は4時間のスプリントレースでしたが、チーム一丸となって戦い、2位表彰台を獲得することができました。

予選は雨、決勝は晴れと異なるコンディションの中で走行することができ、自身にとっても貴重な経験を積むことができたレースでした。

一方で決勝では、FCY中の手順を誤ってしまい、ペナルティを受ける結果となりました。チームの皆様にはご迷惑をおかけしてしまい、本当に申し訳ありませんでした。

今回の反省をしっかりと次戦に活かし、同じミスを繰り返さないよう努めます。応援ありがとうございました。

<本件に関する問い合わせ先> Audi Team SHOW APEX E-mail : sawada@showapex.com 担当：澤田